

天上の国「天川村」の概要

天川村の概要

天の国・木の国・川の国 天川村は、紀伊半島中央部に位置し、その面積の約4分の1が吉野熊野国立公園に属する、近畿最高峰を擁する最源流の村です。また、国土交通省『水の郷』、環境省『名水百選』、日本百名山、日本の滝百選に選ばれるなどとともに、古来よりの有名な寺社等もあり、宗教の発祥と深く関わるなど、豊かな自然と歴史・文化を誇る、これらの『宝』とともに暮らす村です。

東西 20km 南北 13km 面積 175.70平方キロ

人口 1,571人 711世帯(平成22年国庁調べ)

標高 最高所 八経ヶ岳 1,915m 集落では洞川 830m 最低所 塩谷 441m

魂(こころ)の道・祈り

古の日本人は、遥かなる峰々・豊かな森・断崖絶壁などに畏敬の念を抱き、また水を生み、生命の源と考えた山岳を、神聖な場所として崇めてきました。この自然参拝や神道と仏教などが融和したものが修験道であり、中でも大峯山「山上ヶ岳」は、わが国最初の山岳信仰の聖地として1300年の歴史を刻み、今なお多くの修験者が山に入り自身を見つめるなど修業に訪れています。

また、水の神様・日本三大弁財天「天河大辨財天社」の鎮座など、ここ天川村、大峯の山々は少なからず日本人の精神形成に影響を与えた場所といえます。

自然と一体となった景観・文化・歴史。多くの高僧・貴人が訪れ新たなものを生み出し、また再起を促す大切な場所として、聖なる自然環境を受け継ぎ、高い次元で保全しなければならないことを、多くの皆さんに理解して頂かなければなりません。

洞川(どろがわ)温泉街

修験道(大峯信仰)の隆盛と共に登山基地として栄え、旅館・土産物店・お食事処が軒をつらね温泉街を形づくっています。何か懐かしい雰囲気のためよう街で、役の行者の高弟「後鬼」の子孫の里とも伝えられています。また、一帯は代表的なカルスト地形(石灰岩台地)で、面不動、五代松の両鍾乳洞は奈良県の天然記念物の指定を受けています。花崗岩と石灰岩の特異な地層から、ごろごろ水に代表される、ミネラル分を適度に含む、体に良い、おいしい水が湧くのです。



洞川温泉街



洞川温泉街(夜)

龍泉寺

今から千三百年の昔、大峯山の開祖、役の行者によって草創された名刹で、全国修験道の根本道場として信者、登山者の必ず訪れる道場です。境内、竜の口より湧き出る清水をたたえた大峯山中第一の水行場があり、全国信者の尊崇を集めています。又、近畿三十六不動尊第三十一番の礼所でもあります。



龍泉寺 境内



龍泉寺 内護摩

天河大辨財天社

日本三弁天の一つで白鳳年間建立とされていますが、同社には能関係資料多数が保存され、我が国能楽発達史上の貴重な資料とされています。また、空海(弘法大師)は、大峯の山中で修業することによって神仏習合の密教を「あ字観」として完成し、お手植と伝えられる大銀杏(天然記念物)の脇に碑が残されています。また大峯山から高野山に至る街道沿いには、鏡岩をはじめとする数多くの大師伝承が残されています



天川辨財天社



辨財天 境内



辨財天 能舞台

